

公益財団法人不老会会員の皆様へ

当講座では、下記の医学系研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	骨格筋および筋膜の構造と機能に関する研究
研究機関名	愛知医科大学医学部
研究機関の長	医学部長 笠井 謙次
担当科等	解剖学講座
研究責任者	助教 大塚 俊
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	【非該当】
研究の意義・目的	私たちの身体運動に欠かせない骨格筋は、筋膜という組織と密着しておきます。筋膜の特性に関する研究は増加しており、骨格筋の収縮を補助する役割が示唆されています。一方で、その部位差や構成組織を詳細に調査した研究は限られており、その機能ははまだ解明されていません。本研究では、筋膜の特性の部位差や組織学的検討によって、筋膜に関連した基礎的基盤を構築することを目的とします。
対象となる患者さん	倫理審査承認日から 2026 年 3 月 31 日までに医学教育に使用される御献体
研究の方法	取得したサンプルの厚さを電子ノギスによって計測します。張力、弾力を張力計および硬度計を用いて測定します。また、採取したサンプルから組織標本を作成し、顕微鏡下および解析ソフトで観察することで筋膜を構成する細胞や組織の種類や比率を明らかにします。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2026 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報	試料：御献体の筋膜、骨格筋 情報：年齢・性別・献体登録時の情報
外部への試料・情報の提供	【なし】
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
その他	本研究は解剖学講座の研究費で行う研究であり、利益相反の状態にはなりません。
問い合わせ先	愛知医科大学

	医学部 解剖学講座 担当者：助教 大塚 俊 電話 0561-62-3311 (内線 12256)
--	--